

形名			4方向天井カセット形	
品番 (相当馬力)			S-G56UT1(2)	
性能	冷房能力	kW	5.6	
	暖房能力 (標準)	kW	6.3	
	暖房能力 (低温)	kW	6.7	
外形寸法	高さ	mm	256 + <33.5>	
	幅	mm	840 <950>	
	奥行	mm	840 <950>	
	製品質量	kg	19 + <5>	
外装色 (マンセル記号)			ホワイト(N9.3),ブラウン(8.6YR 6.7 / 3.4) グレー(1.0G 7.2 / 0.1),ブラック(N1.0)	
電源			単相 200V 50 / 60Hz	
電気特性	冷房	運転電流	A	0.25
		消費電力	kW	0.025
		力率	%	50
	暖房	運転電流	A	0.23
		消費電力	kW	0.025
		力率	%	54
		始動電流	A	—
冷媒制御方式			電子制御弁	
熱交換器			プレートフィン付チューブ	
送風装置	形名×個数		ターボファン×1	
	定格風量	m <sup>3</sup> /min	急16.5 強13.5 弱11.5	
	機外静圧	Pa	—	
	電動機定格出力 (極数)	kW	《DCモーター》 0.06(8P)	
保護装置			過電流、回転信号検出、ヒューズ	
配管	冷媒	ガス管	mm	φ12.7(フレア)
		液管	mm	φ9.52(フレア)
	ドレン口			VP25(外径φ32) <ドレンポンプ内蔵> (ドレンアップ高さはドレン口から666mm以下)
運転 SW (温度設定範囲)		℃	リモコン(冷・ドライ18~30、暖16~30、冷暖自動17~27)	
ダクト接続口		mm	φ150	
外気導入口		mm	φ100	
エアフィルター			ロングライフフィルター(別売の天井パネルに付属)	
運転音 (SPL)		dB(A)	急32 強30 弱28	
運転音 (PWL)		dB(A)	急47 強45 弱43	
主要付属品			配管断熱材、ドレンホース、ホースバンド、据付説明書	

※ 性能・電気特性はJIS B8627:2015 に基づいた値です。

(冷房時：室内吸込空気温度27℃DB・19℃WB, 室外吸込空気温度35℃DB)

(暖房時(標準)：室内吸込空気温度20℃DB・15℃WB以下、室外吸込空気温度7℃DB・6℃WB)

(暖房時(低温)：室内吸込空気温度20℃DB・15℃WB以下、室外吸込空気温度2℃DB・1℃WB)

※ 外形寸法、質量欄 < > 内は、別売の天井パネルの値です。

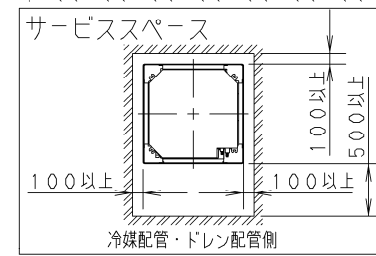
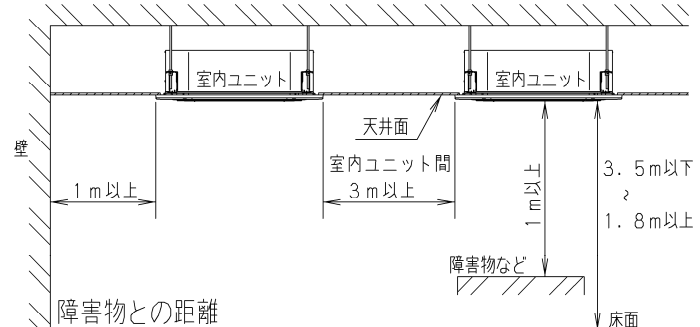
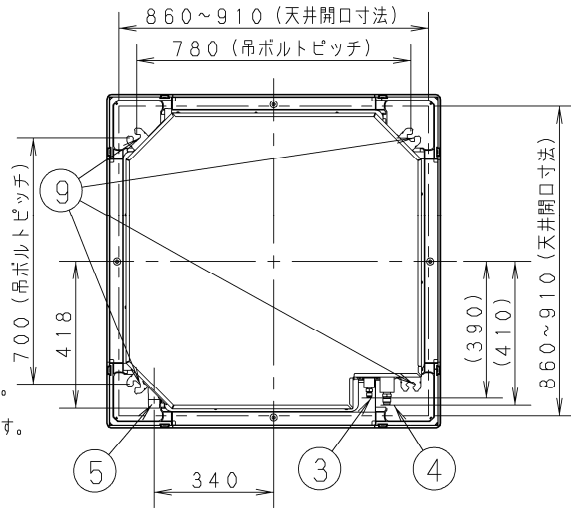
※ 運転音(PWL：音響パワーレベル)はJIS B8627に基づき測定したものです。

運転音(SPL：音圧レベル)は、室内ユニット真下1.5mの値です。

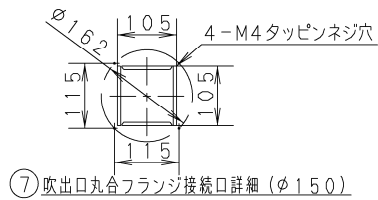
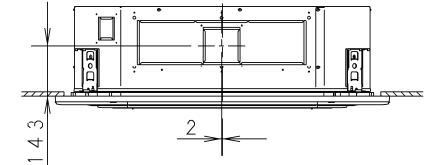
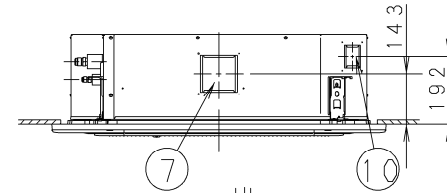
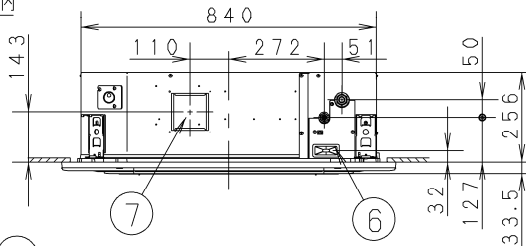
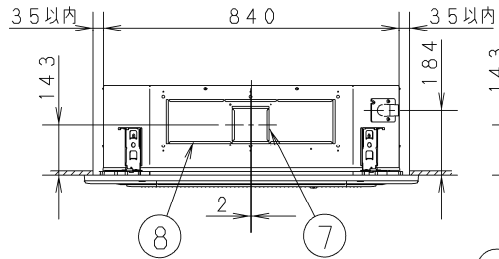
実際に据え付けますと、周囲の騒音や反響などにより表示値より大きくなるのが普通です。

1	吸込口
2	吹出口
3	冷媒配管(液管) φ9.52フレア
4	冷媒配管(ガス管) φ12.7フレア
5	ドレン配管口VP25(外径φ32)
6	配線取入口
7	吹出口丸合フランジ接続口(φ150) ※1
8	自然気化式加湿器(別売品)取付部
9	吊りボルト穴(4-12×28長穴)
10	外気取入丸合フランジ接続口(φ100) ※2
11	ワイヤレスリモコン受信部(別売品)
12	昇降操作専用リモコン受信部(別売品)
13	エコナビセンサー

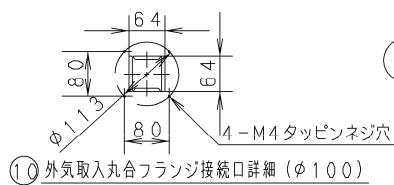
※1、別売品：吹出口丸合フランジ(φ150)が必要です。  
また、しゃ風材が必須となります。  
※2、別売品：外気取入丸合フランジ(φ100)が必要です。  
《フィルター寸法》：(520×520×15)※1個



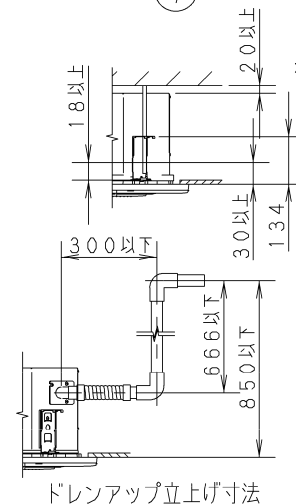
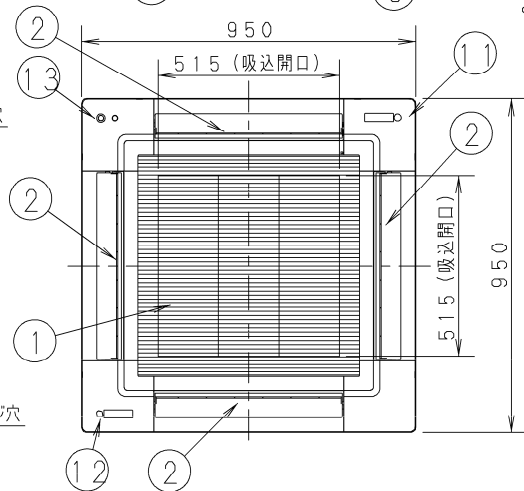
・室内ユニット据付時の障害物との距離は上図の通りに確保してください。  
左図の通りにサービススペースを確保してください。  
・別売品を取り付ける際は、各別売品の部品取付図を参照してください。  
・外気の入りやすい扉や窓の近くに据え付けることはできる限り避けてください。  
・霧がついたり、霧吹きや霧飛びが発生することがあります。  
・高周波が発生する機器(インバータ機器・自家発電機・医療機器・無線通信機器 他)のあるところは避けてください。  
・火災報知機と吹出口は1.5m以上離してください。  
・天井内の温湿度が30℃またはRH80%を超えると思われる場合は、断熱材キット(別売品)をご使用ください。  
・電圧変動の大きいところに室内ユニットを据え付けしないでください。



⑦ 吹出口丸合フランジ接続口詳細(φ150)



⑩ 外気取入丸合フランジ接続口詳細(φ100)

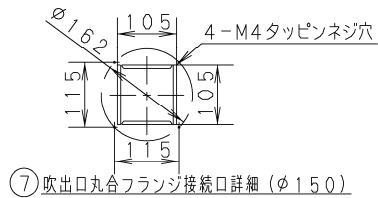
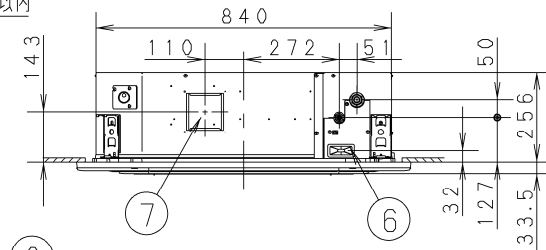
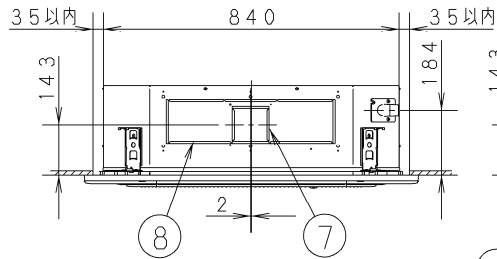
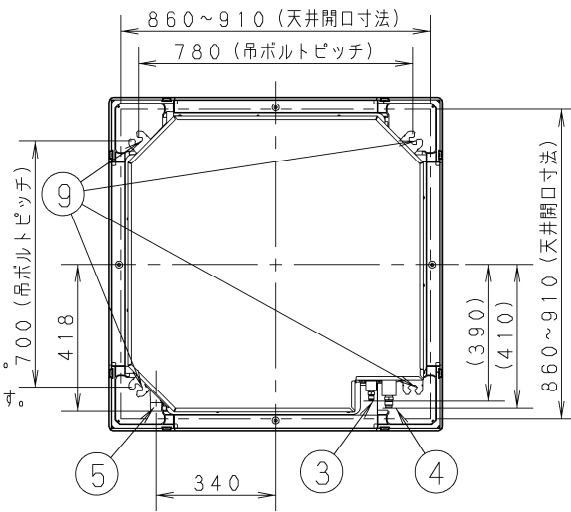


※. 吊りボルトの長さは、左図のように天井下面から30mm以上(本体下面からは18mm以上)隙間があくようにしてください。吊りボルトの長さが長いと、天井パネルに当たり取り付けできません。

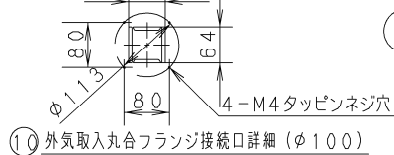
品番	外形寸法図 4方向天井カセット形 《エコナビパネル使用》
----	------------------------------------

1	吸込口
2	吹出口
3	冷媒配管(液管) φ9.52フレア
4	冷媒配管(ガス管) φ12.7フレア
5	ドレン配管VP25(外径φ32)
6	配線取入口
7	吹出口丸合フランジ接続口(φ150) ※1
8	自然気化式加湿器(別売品)取付部
9	吊りボルト穴(4-12×28長穴)
10	外気取入丸合フランジ接続口(φ100) ※2
11	ワイヤレスリモコン受信部(別売品)
12	昇降操作専用リモコン受信部(別売品)

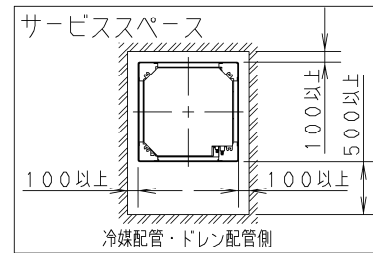
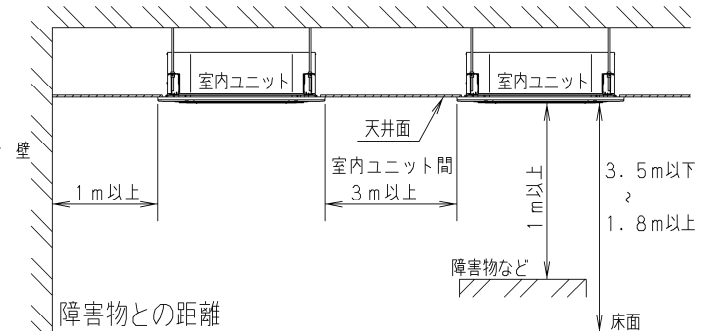
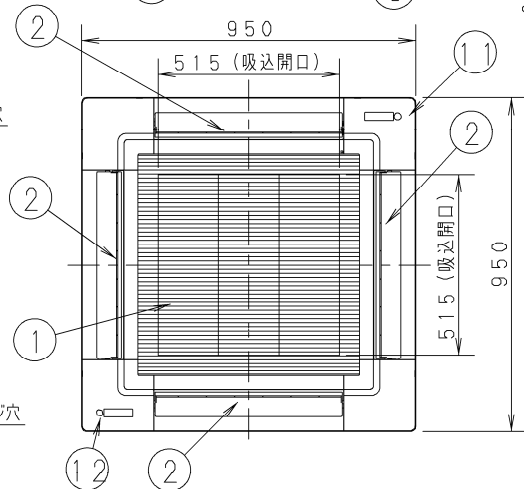
※1、別売品：吹出口丸合フランジ(φ150)が必要です。  
また、しゃ風材が必須となります。  
※2、別売品：外気取入丸合フランジ(φ100)が必要です。  
《フィルター寸法》：(520×520×15)※1個



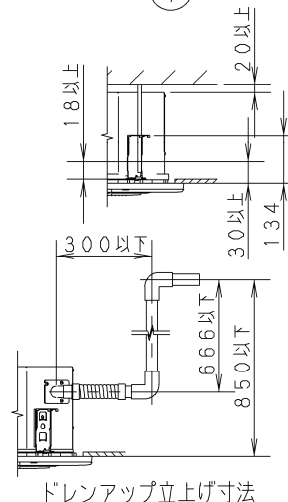
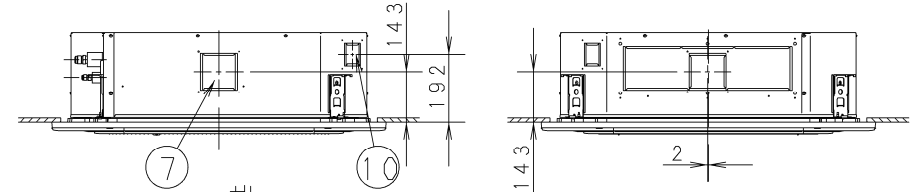
⑦ 吹出口丸合フランジ接続口詳細(φ150)



⑩ 外気取入丸合フランジ接続口詳細(φ100)



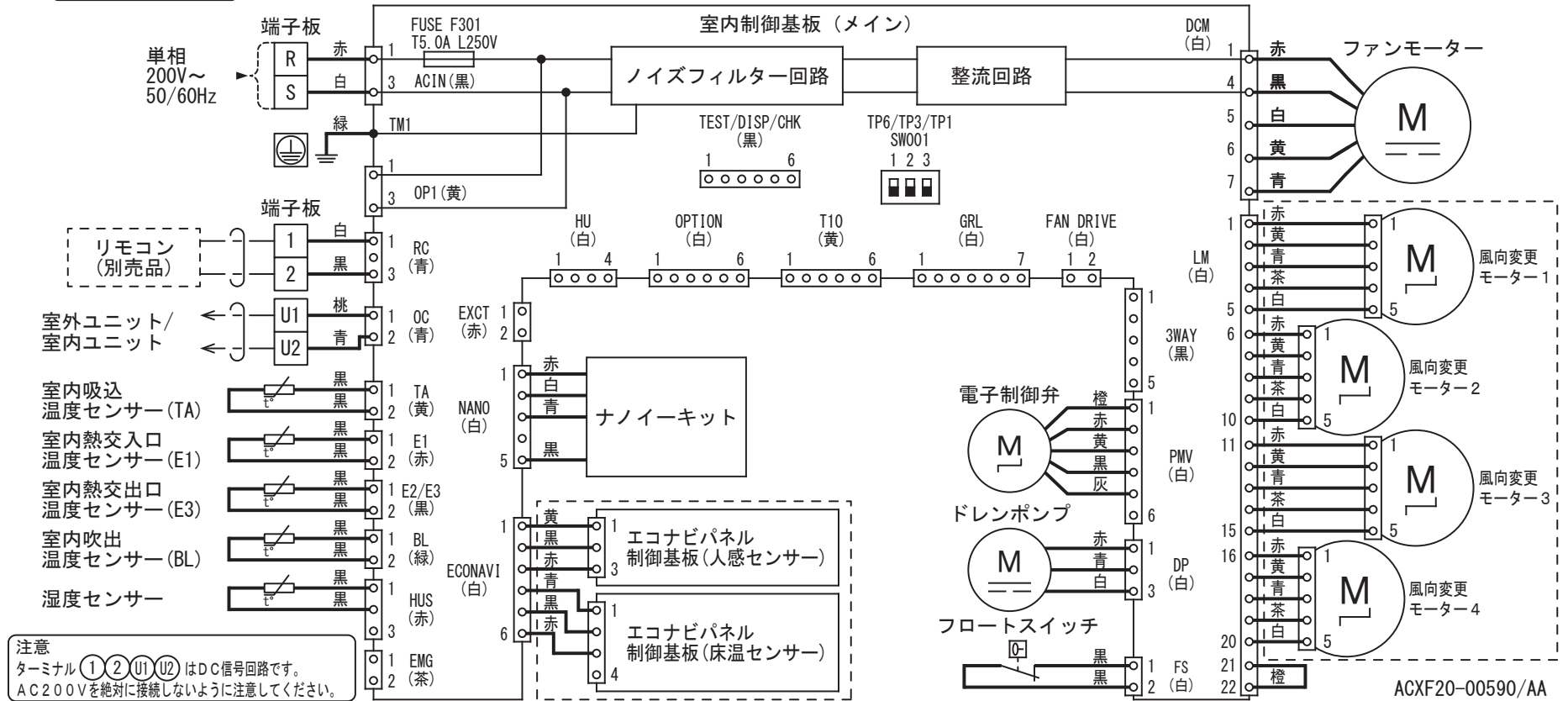
・室内ユニット据付時の障害物との距離は上図の通りに確保してください。  
左図の通りにサービススペースを確保してください。  
・別売品を取り付ける際は、各別売品の部品取付図を参照してください。  
・外気の入りやすい扉や窓の近くに据え付けることはできる限り避けてください。露がついたり、霧吹きや露飛びが発生することがあります。  
・高周波が発生する機器(インバーター機器・自家発電機・医療機器・無線通信機器 他)のあるところは避けてください。  
・火災報知機と吹出口は1.5m以上離してください。  
・天井内の温湿度が30℃またはRH80%を超えと思われる場合は、断熱材キット(別売品)をご使用ください。  
・電圧変動の大きいところに室内ユニットを据え付けしないでください。



※ 吊りボルトの長さは、左図のように天井下面から30mm以上(本体下面からは18mm以上)隙間があくようにしてください。吊りボルトの長さが長いと、天井パネルに当たり取り付けできません。

品番	S-G28, 36UT1 -G45, 56UT1	外形寸法図 4方向天井カセット形 《標準パネル使用》
----	-----------------------------	----------------------------------

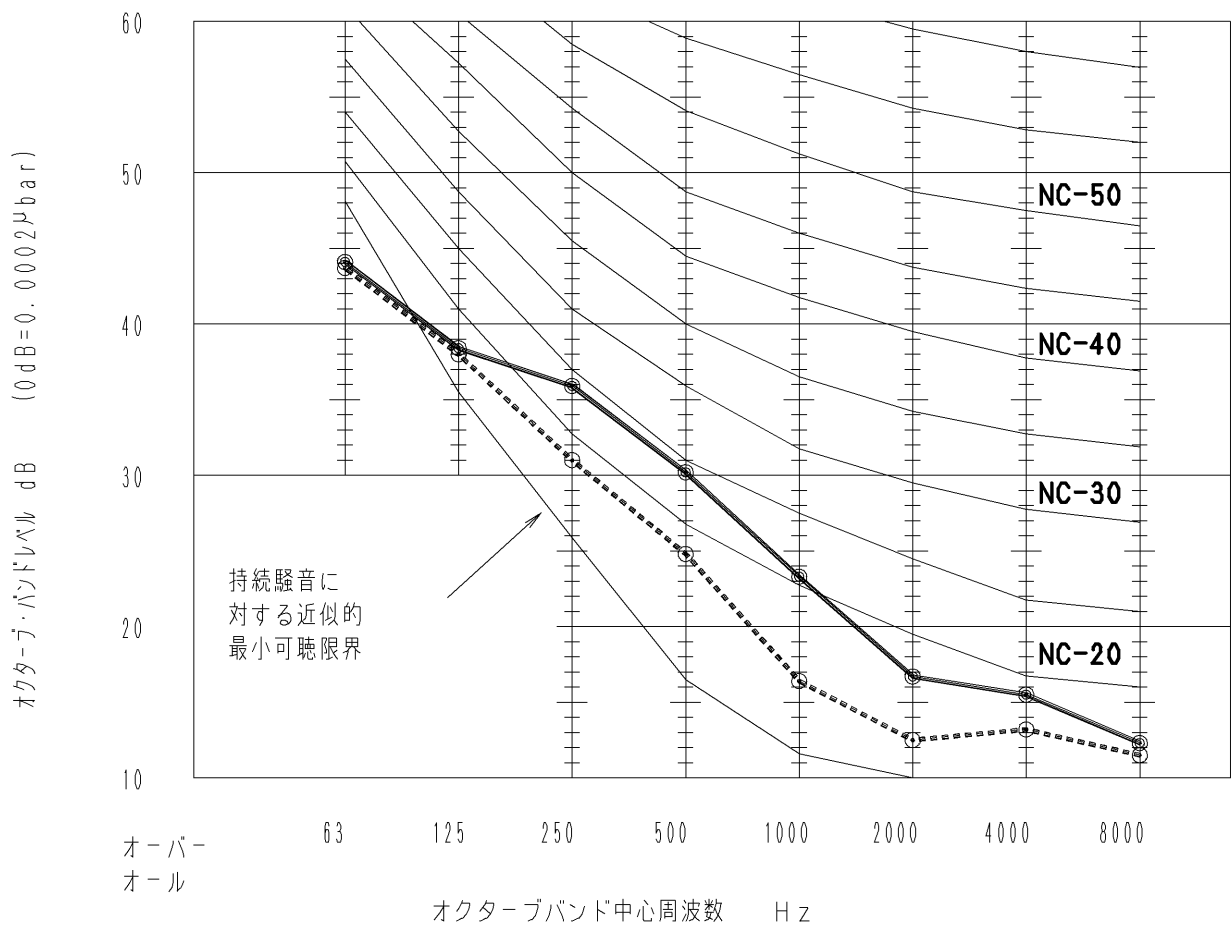
電気回路図



運転音レベル dB (A) 急/強/弱	32/30/28
測定位置	ユニット真下1.5m

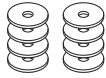
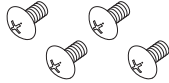
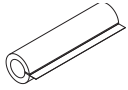
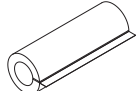
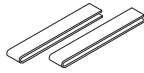


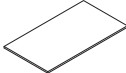
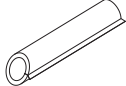
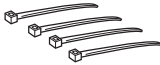
50Hz・60Hz共通

—●— 急  
- - -○- - - 弱



品番	S-G56UT1	運転音特性 4方向天井カセット形
----	----------	---------------------

# 室内ユニット付属品

名 称		形 状	個数	備 考
吊り下げ用 ユニット	ワッシャー		8	吊金具 上下
	ネジ		4	据付原寸図用
冷媒配管用	フレア断熱材		1	液管用
	フレア断熱材		1	ガス管用
	断熱テープ		2	フレアナット 接続部用 (液管・ガス管)
ドレン配管接続用	ドレンホース		1	ドレン配管接続部
	ホースバンド		1	ドレン配管接続部
	パッキン		1	ドレン配管接続部
	ドレン断熱材		1	ドレン配管接続部
	結束クランパー		4	配線固定用
その他	据付工事説明書		1	

●吊りボルトおよびナット(現地調達)は、M10 または 3/8" を使用してください。

●付属品を取り出してください。

ファンを固定しているテープが残っていたら、はがしてください。

取り外さずに使用すると、故障の原因になります。